

問題No.1

消費と商品に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 所得が増え、生活が豊かになると、消費は「画一的消費」と「選択的消費」とに二極化してゆく
2. コモディティ商品とは、買い物の楽しさや商品選択のおもしろさを提案する商品群のことである
3. ライフスタイル商品とは、生活に潤いと個性を与える商品群のことである
4. 経験商品とは、身体的、精神的な感動や美的な満足を与えてくれる価値を持った商品(サービス)のことである

【解説】

2. コモディティ商品とは、トイレトペーパーや洗濯洗剤のような生活必需品のこと。ないと生活の維持に困る商品群であって、ライフスタイル、客層、所得、年齢などと関係なく消費されていくものである。

答 2

問題No.2

東日本大震災で、日本中の産地や物流拠点から食糧を始めとする生活に必要な物資が被災地へなかなか届かなかった。その原因に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 津波によって倉庫や工場が壊れたから
2. 地震と津波によって、道路や鉄道が分断されたから
3. 瓦礫の山がなかなか片付かなかったから
4. 被災地や避難所の情報が錯そうしていたから

答 1

問題No.3

「クールビズ」に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ダンヒル等の有名ブランドが夏のビジネスウエアを発表した
2. ノーネクタイでも下着のシャツが見えない深いVネックの肌着の発売
3. 携帯音楽プレーヤーを収納できるポケット付きネクタイの販売
4. 公共施設やイベント広場で行われているミストシャワーもクールビズの一環である

【解説】

「クールビズ」とは、夏の軽装運動の名称である。[2005年4月7日実施] 4. はクールビズには該当しない。

問題No.4

電子マネーについての次の組合せのうち、最も不適当なものはどれか。

1. ビットワレット-----P A S M O
2. セブンイレブン----- nanaco
3. JR 東日本-----S u i c a
4. イオン-----W A O N

【解説】

1. Edy が正しい。

問題No.5

小売店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 百貨店では噴水効果、シャワー効果を利用して、顧客を店内全体に誘導する
2. コンビニエンスストアでは、商品配置によって、売上げに大きな影響がある
3. コンビニエンスセンターは、ミニショッピングセンターとも言われ、買回型集積センターである
4. 専門店では、対面販売が基本である

【解説】

3. 「日常生活対応の最寄型集積センター」である。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.73 参照

問題No.6

地域商店街活性化法に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 生活者ないし住民として環境保持の観点から店舗面積ならびに閉店時刻を調整した法律
2. 市街化区域における建築の用途を定めた特別用途を骨子した法
3. 事業活動の促進に関する法律
4. 地域商店街の組織化に係る法律

【解説】

共通問題

3. 商店街活性化のため、地域住民の需要に応じた事業活動の促進に関する法律である。(平成21年7月15日公布。8月1日施行)

答 3

問題No.7

次の文章の に該当する語句のうち、最も適当なものはどれか。

『2006年に行われた「まちづくり三法」の見直しは、少子高齢化、インフラ維持コストの負担増等を背景に、市街地の拡散抑制、まち機能の中心市街地への集中により、中心市街地の賑わいを回復する を念頭においたものである。』

1. コンパクトシティ
2. インナーシティ
3. エコロジータウン
4. 暮らしの広場

答 1

問題No.8

大規模小売店舗に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 日本型SPAとは、製造販売店で生活者のニーズに対応した新業態型店舗である
2. 大規模小売店舗立地法が対象とする大型店は1,500㎡を超えるものである
3. 大規模店舗には、専門大店、百貨店、複合型商業施設、GMSなどがある
4. 業態の基本的な方向として、スペシャリティ化、メガストア化、ブランドワールド化がある

【解説】

2. 対象は1,000㎡を超えるものである。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.212～213 参照

答 2

問題No.9

複合型商業施設に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 基本となる業種業態は物販店、飲食店、サービス関連、アミューズメントなどで構成されている
2. 事業の条件としての賃料徴収形態には固定制と歩合制がある
3. 竣工間近になると運営管理計画と宣伝・販促計画をする開業計画が大事となる

4. 事業の一般的なフローチャートによると、テナント誘致計画は市場調査よりも先に考える必要がある

【解説】

4. 何よりも市場調査を先にすべきである。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 214～216、222 参照

答 4

問題No.10

照明に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 光の色を表わす色温度は、K（ケルビン）である
2. 光の演色性を表わすのは、R a（アールエイ）である
3. 光の量を表わすのは、L m（ルーメン）である
4. 光の強さを表わすのは、V（ボルト）である

【解説】

4. 光の強さを表わすのは、W（ワット）であり、V（ボルト）は電圧の単位である。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 295～297 参照

答 4

問題No.11

ビジュアルマーチャンダイジングの計画から実施までに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 組織は総務人事部門で構成する
2. 対象顧客に対する品揃えを明確にする
3. 商品の見せ方を明確にする
4. プレゼンテーションの手法を習得し持続させる

【解説】

ビジュアルマーチャンダイジングを実施するためには、経営の考えに基づいた計画と運営の組織が必要であり、それぞれの役割を理解し、実践することが求められる。組織は商品計画部門と営業部門、プレゼンテーション担当部門で構成される。

答 1

問題No.12

商業におけるMDの説明に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

共通問題

1. 最も厳格な意味では、MD＝マーチャンドライジングとして、店舗等の商品計画と商品の展開までをいう
2. 商品計画を行い、商品を開発し商品を店頭で展開する担当者のことをMD＝マーチャンドライザーということもある
3. 最も広義にはショッピングセンターのテナント揃えまでを言うこともある
4. 店舗の店頭などの季節に合わせた商品展示手法をいう

【解説】

本来の意味は、1、2 であるが、現在は習慣的にMD＝商品、MD＝テナントとして理解される場合も多い。

答 4

問題No.13

サインの機能に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 建物の施設・部屋・機能などの目的や使用方法を知らせる
2. 避難誘導や非常口誘導表示にピクトグラムを使用することはほとんどない
3. 施設配置図・平面配置図を表示し、施設の全容や現状位置を知らせる
4. 入場規制や禁煙表示などの禁止事項、指示などを喚起する

【解説】

2. 避難誘導や非常口誘導表示にピクトグラムを使用することは多い。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 400 参照

答 2

問題No.14

物品販売施設の基本設計の内容に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ファサードデザインの決定
2. 顧客、従業員の動線計画の決定
3. 経営方針、販売方法、事業規模の決定
4. 商品配置計画の決定

【解説】

3. 経営方針、販売方法、事業規模の決定などは企画設計の段階ですでに決定されていなければならない。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 352 参照

答 3

問題No.15

建築物の防災および安全性に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 地震対策としては、陳列された物品等の落下・転倒防止策の検討も重要である
2. 火災に対する防災項目としては、発生防止、早期発見、拡大防止、避難対策等があげられる
3. 日常的な防災管理、予防管理体制の確立は、災害という非常時にはあまり有効ではない
4. 台風等の強風時における庇・看板等の破損、倒壊には、十分な注意が必要である

【解説】

3. 日常的な予防・訓練等が非常時に役立つ。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.324 参照

答 3

問題No.16

情報化に関する次の語句の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. P B X ----- 構内交換機
2. L A N ----- 国際通信ネットワーク
3. C A D ----- 設計製図システム
4. C G ----- 画

【解説】

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.338 参照

答 2

問題No.17

環境や安全への配慮に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 瑕疵とは「きず」という意味であるが、法律上は何らかの欠点や欠陥があることをあらわす
2. P L 法（製造物責任法）とは、製造物の欠陥によって損害を被った場合に、被害者は販売店に対して損害賠償を求めることができるという法律である
3. 施工管理の安全管理においては、「労働安全衛生法」の遵守と労働者の安全に細心の注意を払った管理が必要である
4. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度は、工場や建設現場などから排出される産業廃棄物の処理に際して、適正な処理を確保することを目的としている

【解説】

2. 販売店でなく製造業者である。

1. 改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.375 参照

2. 改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.375 参照

3. 改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.372 参照

4. 改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.374 参照

問題No.18

複合商業施設の内装監理業務に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 竣工後、各店舗の竣工図書をまとめ、提出することも監理者の業務である
2. 準備段階において、工事区分表の作成及び白図作成も監理者の業務である
3. 準備段階における関連諸官庁との打合せも監理者の業務である
4. 内装監理業務とは、商業施設の事業主体がおこなう建築工事を監理する業務である

【解説】

4. 内装監理業務とは商業施設に出店する店舗などの設計・施工に対する監理業務である。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 370～374 参照

問題No.19

各種工事に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 石膏ボード直張り工法とは、コンクリート面に接着剤をだんご状に塗り付け、ボードを押しながら張り付ける工法で、GL工法と呼ばれている
2. 仕上げを目地のない平滑な面としたいので、端部をテーパ加工した石膏ボードを用い、継目処理工法にて施工した
3. 耐火性、断熱性を要求される厨房壁面に、けい酸カルシウム板を使用した
4. パーティクルボードは水を含むと強度が増すため、厨房・浴室等の壁面材として使用される

【解説】

4. パーティクルボードは木材のチップ、フレークなどに接着剤を塗布して成形熱圧したものであり、吸水すると膨張してしまうため、水廻りの下地材には使用しない。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 392 参照

問題No.20

複合商業施設の内装監理業務に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 防犯性能



2. 断熱性能



3. 不燃性能

F★★★★

4. リサイクル



【解説】

4. POS システム
である。

とは、POINT OF SALES の略で、販売時点での情報管理システムのこと

改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 223 参照